

広島デジフラ構想に基づく具体的な取組の進捗状況について

1 要旨・目的

令和3年3月に策定した「広島デジフラ構想」に掲げる各取組（50項目）の進捗状況を報告する。

2 現状・背景

建設分野における調査、設計、維持管理のあらゆる段階において、デジタル技術を最大限に活用し、官民が連携してインフラをより効果的・効率的にマネジメントしていくため、「広島デジフラ構想」（以下「構想」という）を策定し推進している。

構想の推進には、県民や関係者のニーズや課題を踏まえ、様々な取組の改善を加えながら進め、その成果等についても見える化し、広く発信していく必要がある。

3 概要

(1) 対象者

県民、民間事業者

(2) 事業内容（実施内容）

構想を県民に広く周知し取組の理解を得るため、今年度から各取組に対する現在の進捗状況や今後の取組に向けての課題や方向性、その成果を整理（見える化）した上で、各取組の進捗状況等を公表することとした。

(3) スケジュール

令和3年度から令和7年度までの5年間

(4) 予算（補助事業・単県）

798,360千円

(5) 今後の対応

各取組の進捗状況等については、県ホームページで公表するなど、様々な媒体を通じて広く周知を図る。


また、各取組については、デジタル技術の進展や社会状況の変化等を踏まえ、柔軟な発想で見直しを行いながら課題解決を図っていく。

これまでの主な成果


新たなサービス・付加価値の創出

①新たなサービス・付加価値の創出

インフラマネジメント基盤 DoboX の構築・運用拡大



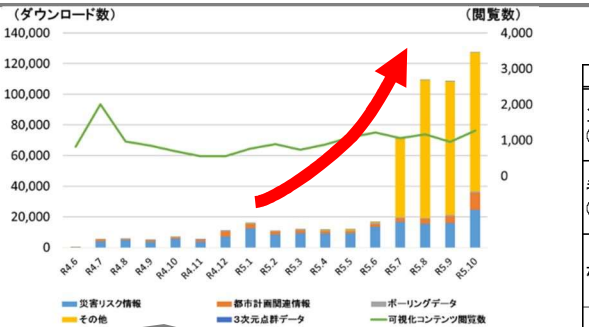
国・県に加え、市町の主要道路の規制情報を公開 (R5.6)



浸水想定、土砂災害などのリスク情報を公開 (R4.6)

表 公開データの利用状況

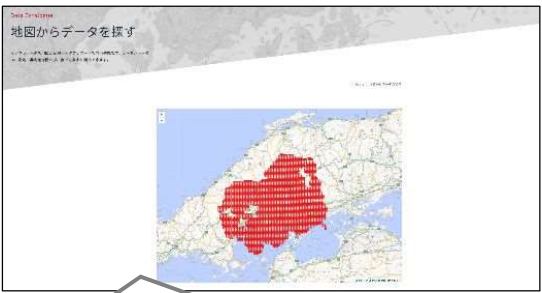
データ種別	ダウンロード数	具体的な利用方法
災害リスク情報 (浸水想定区域等)	164,093回	・地域の防災活動での説明資料やマップの作成 ・管理設備の被災リスクの確認及び対策の検討
都市計画関連情報 (都市計画基礎調査結果等)	39,362回	・GISに取り込みデータ分析業務等に活用
ボーリングデータ	7,823回	・建設工事等における調査計画立案
3次元点群データ	1,487回	・3次元設計によるアクセス道路の計画等 ・災害リスク情報を可視化するための3D地図の作成 ・土石流発生後の地形を確認するための基礎資料
その他 (公共土木施設基本情報等)	323,238回	・施設の位置情報をGISに取り込み業務に活用
合計	536,003回	集計期間: 2022年6月28日～2023年10月31日 (16ヶ月間)



・3次元点群データやボーリングデータ等を、建設事業者が調査・設計業務を実施する際の基礎データとして活用
 ・一元化された災害リスク情報を、地域の災害図上訓練時に活用 等


②価値あるデータの整備

県土全体の3次元デジタル化



県内全域で3次元点群データを公開 (R4.6)


都市計画基礎調査結果のオープンデータ化




都市計画区域等に加え土地や建物の利用現況等を公開 (R5.9)

民間ニーズ等を踏まえたデータ整備・利活用の推進

産学官が連携したデータ利活用による地域課題解決に向けた新たなサービス・付加価値創出の取組



アプリ開発支援 Hack Challenge2023 開催 (R5.9)

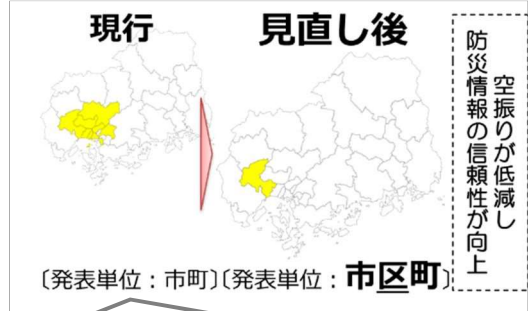
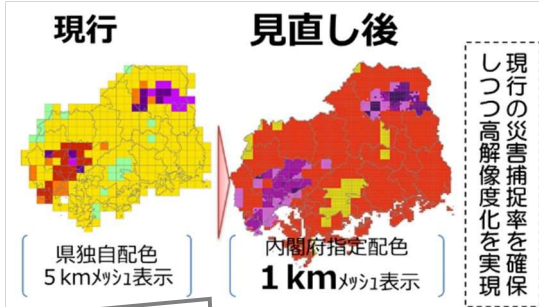


県立広島大学でのアイデアソン (R5.10)

2

③災害リスク情報の発信

個人ごとに異なる災害リスク情報のリアルタイム発信



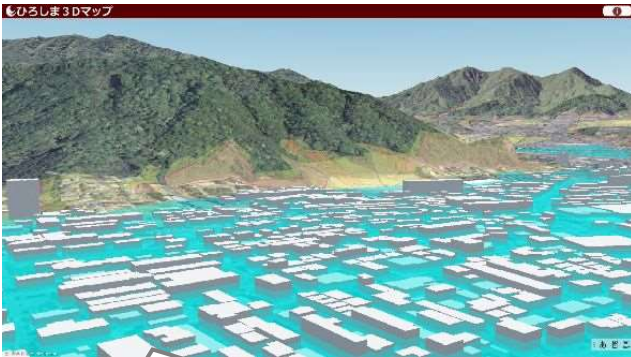
土砂災害危険度情報を、最新の降雨データを基に全面改訂 (R3.6)

広島市の土砂災害警戒情報の発表区域を見直し (R3.6)



「Yahoo!防災速報」に、県が企画段階から協力し、マイ・タイムラインをデジタル化した機能を実装 (R3.9)

災害リスク情報等の3D マップ化



ARを活用した災害リスクの可視化



④異常気象時の業務効率化

画像情報等の充実・強化



道路、河川、港湾等のカメラ情報を一元化し、防災に資する道路、海岸のカメラを約 100 箇所追加 (R5.8)

取組分類

県民の安全・安心、利便性の向上

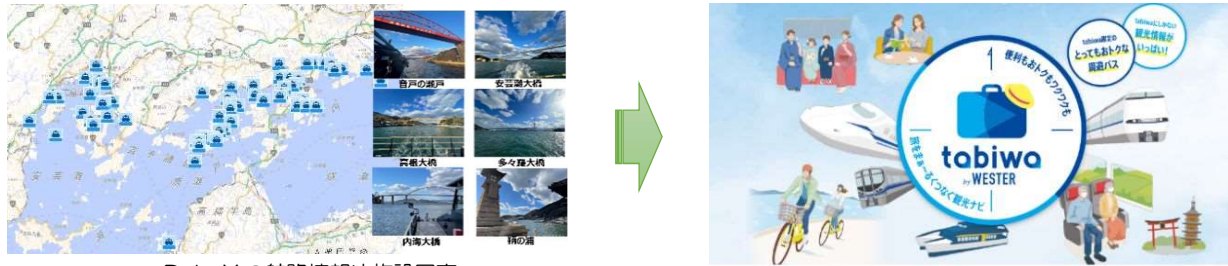
⑤円滑な物流・人流の実現

効果的・効率的な空き家対策の推進



VRを用いた物件閲覧機能実装後のアクセス数 (11,965 件 (R3) →13,040 件 (R4) (+1,075 件増))

デジタル技術を活用した瀬戸内海航路網の最適化



DoboX の航路情報や施設写真

DoboX の航路情報や施設写真を、JR 西日本が運営する観光ナビアプリ tabiwa に連携し観光情報を充実 (R5.3)

取組分類

建設分野の生産性向上

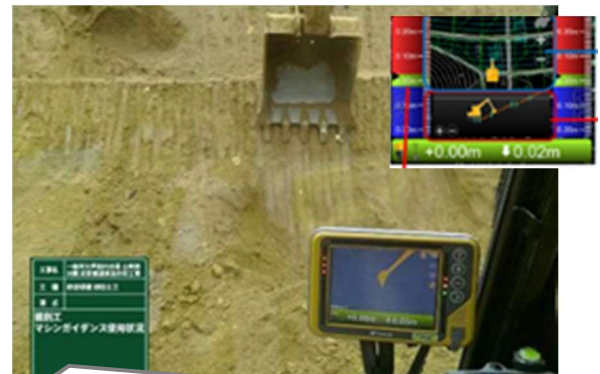
⑥効率的な事業の推進

主要構造物におけるCIMの完全実施



CIM 活用業務の適用範囲を拡大 (62 件 (R3.4~R5.9))

土工工事におけるICT活用工事の完全実施



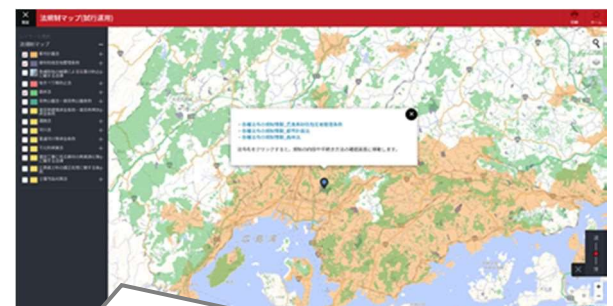
ICT 活用工事の適用範囲を拡大 (186 件 (R3.4~R5.9))

受発注者間の協議・臨場等の高度化・効率化



遠隔臨場を開始し受発注者間の業務を効率化 (R3.9)

法規制関係情報の一元化表示



許可手続き等が必要な 14 法令の区域情報等を公開 (R5.3)

取組分類

建設分野の生産性向上

⑦維持管理の高度化・効率化

ドローン等を活用した施設点検の高度化・効率化

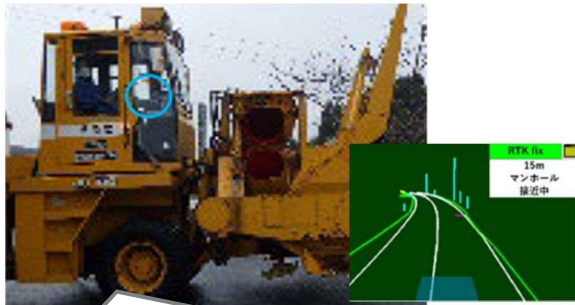


ドローンを活用した施設点検を開始し点検を効率化 (R5.6)



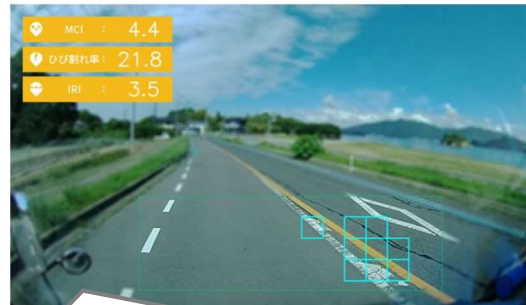
砂防堰堤監視用カメラを設置し監視を強化 (R5.6)

除雪作業における支援技術の構築



除雪車に支援システムを実装し除雪作業を支援 (R5.3)

路面管理の効率化と路面陥没を予測する技術の構築



路面性状を把握する技術の実装し路面管理を効率化 (R5.3)

取組分類

持続可能な変革

⑧人材育成と官民連携

デジタルリテラシー向上に係る研修の実施



ICT 活用工事の実践的な講習会を開始 (R4~R5 計9 回開催)



民間向け GIS オンラインセミナーを開始 (R5.8)

建設現場の魅力発信



学生向け現場見学会においてAR・VRを体験 (R4.11)



DX 関連ブースの展示など建設現場の魅力を発信 (R5.10)